

萩原 正人さん



Topic 01 「靴って、ただ歩くためだけのものだと思ってませんか？」

佐渡で7代続く家業の靴屋で働く萩原さん。靴を通じて、人の足や生活そのものを守る仕事に取り組んでいます。

「僕は一度高校を卒業して島を出て、違う仕事をしていたんです。でも2011年に家業を継ぐために戻ってきました。そのときに、靴の専門知識をもっと学ぼうと思ってシューフィッターの資格を取りました。今では上級資格も持っています。」

この資格、日本にはわずか340人、県内では7人ほどしかいません。専門知識を身につけることで、「足の痛みや変形で困っている人を助けられる」というやりがいが増えたそうです。



Topic 02 仕事のやりがいは？

「靴を変えるだけで、足の痛みがなくなったり、歩きやすくなったりする瞬間です。特に本当に困っている人の役に立てたときは、本当に嬉しいです。」

萩原さんの店では、靴の販売だけでなく、隣にあるフットケアサロンと連携して巻き爪やタコのケアも実施。足と靴の両面から、健康で快適な生活をサポートしています。

Topic 03 この仕事に向いている人は？

「人のために役立ちたい、困っていることを助けたいという気持ちがある人ですね。あと、足の大切さを知ってもらいたいと思える人も向いていると思います。」

萩原さんはSNSや地域のイベントを通じて、足や靴の知識を伝える活動も行っています。学校の部活動で足の使い方や正しい歩き方を教えることもあるそうです。

Topic 04 どんな靴がいい靴なの？

「ポイントは3つ。まずは踵（かかと）がしっかりしていること。靴の中で足が動かないように支えてくれます。次はつま先の曲がる部分が足の関節と同じ位置で曲がること。そして靴全体のバランスも大事です。」

靴は単なるファッションではなく、“予防医学”の道具でもあります。合わない靴を長く履くと、外反母趾や巻き爪などのトラブルにつながり、生活そのものに支障が出ることもあります。

Topic 05 趣味は？

「映画を見るのが好きですね。島外に行ったときはだいたい映画館に行きます。あと、人の歩き姿をつい観察しちゃうんです（笑）。靴や姿勢、体の使い方、その人のクセや健康状態がわかるんですよ。」

Topic 06 高校生へメッセージ

「靴って、歩くための道具だけじゃなく、自分の体や生活を守る道具です。足のことを知って、正しい靴を選ぶことは、将来の生活の質を守ることに繋がります。少しでも興味を持って、足のことを考えてほしいですね。」

投票は公式LINEから



萩原さんの
Instagram

